

石川県能登島ガラス美術館 石川 84-1175
NOTOJIMA GLASS ART MUSEUM

～ダリも魅せられた神秘的技法～
パート・ド・ヴェール展

■会期 4月3日(日)まで
■休館日 3月15日(火)
■開館時間 9:00～16:30 (入館は16:00まで)
■観覧料 一般800円 ※中学生以下無料

ガラ美の見どころトーク
■日時 3月20日(日) 14:00～
■参加費 無料
※高校生以上は、別途入館料が必要

■休館日のお知らせ
4月4日(月)から8日(金)の5日間、展示替えのため休館します。



「ひまわり」
安藤ひかり、1998年
個人蔵

石川県七尾美術館 石川 53-1500
SHIKAWA NANAO ART MUSEUM

「写実力と想像力」
「春の優品おもてなし～絵画・工芸・写真を中心に～」

第1展示室では「写実力」と「想像力」に焦点をあて、日本画・洋画・彫刻作品など20点を紹介。第2展示室では長谷川信春(等伯)筆「善女龍王図」と「陳希夷睡図」、現代絵画や写真、池田コレクションから織部焼の優品など30点の展示でおもてなしします。

■会期 4月17日(日)まで
■休館日 祝日以外の月曜日、3月22日(火)
■開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
■観覧料 一般350円 大高生280円
※中学生以下無料
※3月21日(月・祝)は、70歳以上の観覧料無料



日本画「海」
稲元 実
当館蔵

のとじま水族館 石川 84-1271

水族館でも春満開です！！

日ごとに暖かくなり、春の訪れを感じる時期になってきました。のとじま水族館では、今月もイベント満載です。

○企画展「新しい命の旅立ち
生命のつながり」開催
■開催期間 3月10日(木)～4月17日(日)
■場所 本館出口イベントホール



珍しい繁殖生態を持つ生きものを展示

○新入生応援企画
■新小学1年生 入場料無料
※期間 3月20日(日)～4月6日(水)
☆そのほかのイベントはホームページをご確認ください☆

公益財団法人 演劇のまち振興事業団
能登演劇堂 石川 66-2323

「海の風景」

草笛光子×串田和美の初共演が実現！異色の顔合わせで贈る大人のファンタジー劇です。映画・ドラマ「トリック」でおなじみの池田鉄洋と舞台・映画・ドラマで活躍中の小島聖も出演します。どうぞ、ご期待ください。

■日時
4月29日(金・祝) 18:30開演
4月30日(土) 13:00開演
5月1日(日) 13:00開演

■出演
草笛光子 串田和美 小島聖 池田鉄洋 ほか

■前売料金
一般 6,500円 高校生以下 4,500円(全席指定)
※当日券は500円増し
※未就学児入場不可

■予約開始
4月2日(土) 9:00～



新刊情報

**ブラック・ヴィーナス
投資の女神**
城山 真一 著
宝島社



にっぽんのおやつ
白央 篤司 著
理論社



図書館からのお知らせ

○平成27年度
「本を読む仲間のつどい」講演会
『オズボン紀行』を巡って
～父 今井一良が著した～

■講師 今井 和愛氏
(プロフィール)
昭和26年津幡町生まれ
「グローバルねっと・石川」代表世話人

■日時:3月12日(土) 13:30～15:30
■場所:七尾サンライフプラザ2階 視聴覚室
■入場料:無料(申込不要)
問い合わせ:中央図書館

New Books
みんなの本棚 新刊情報
23日はななお家読の日

※七尾市立図書館のホームページでは、図書館の最新情報が見られます。また、全図書館の蔵書検索や図書館の予約(各図書館で登録が必要)ができます。ぜひご利用ください。

中央図書館 ☎53-0583
本府中図書館 ☎53-3662
田鶴浜図書館 ☎68-6785
中島図書館 ☎66-8000

七尾市立図書館 検索

七尾市での一年間を振り返って
～地元の人々の温かさに感謝～



香川県丸亀市派遣職員
大川 智さん

香川県丸亀市と七尾市の交流が始まって41年。毎年11月3日の文化の日に、うどん物産展を開催しているのが丸亀市の皆さんだ。その丸亀市と今年度初めて人事交流が実現。七尾市の観光交流課職員として、業務に取り組んだ大川智さんが一年を振り返った。

この一年、業務を通じて和倉温泉をはじめとする観光資源の魅力や、青柏祭、石崎奉燈祭など祭りの雄大さを体感しました。七尾市は、魅力的な素晴らしいまちだと思います。

私の主な業務は、七尾市を訪れる観光客数を分析することです。今年度は、北陸新幹線金沢開業やNHK朝の連続テレビ小説「まれ」など、石川県にとって誘客のきっかけになる出来事が多い年でした。その効果を数字で感じることができ、良い機会に着任できたとうれしく思います。

業務以外にも、地域の祭りやイベントへ参加しました。印象深いことの一つに、石崎奉燈祭があります。私は法被にさらし、地下足袋を履いて参加しました。石崎町の若衆の皆さんに交じり「イヤサカサー」と掛け声を合わせて担ぎました。両肩には青あざができ、日中は日差しと地面からの照り返し。夜になれば体力の限界が近付き、やっこの思いで担ぎ通

しました。それができたのは、一年間の七尾市の生活で、多くのことを経験したいという思いと、何より県外から来た私を快く受け入れてくれた地元石崎町の人たちの温かさがあつたからこそだと思います。この祭りは、これまで経験した中で一番楽しく、とても達成感があるものでした。闇に輝く奉燈の雄大さは今でも鮮明に覚えています。奉燈を担ぎ、心を躍らせた祭りが懐かしいです。

7月には七尾祇園祭、9月にはお熊甲祭にも参加させてもらい、能登ならではの祭りを肌で感じる事ができました。地元の結束力の強さ、祭りに掛ける意気込み、伝統を守り続ける姿に心を打たれました。

七尾市と丸亀市は交流を始めて、今年で41年目になります。文化協会や少年団体など、これまで多くの団体が交流を深め、今年度、初の行政間の人事交流が始まり、両市の結束もより強いものになったと思います。最後に、公私共に親切に接してくれた職場の皆さんに感謝の気持ちを伝えたいです。おかげで、多くの人と交流することが出来ました。丸亀市へ帰っても、七尾市とのつながりを大切に、この一年間の経験を次のステージへと繋げていきたいです。一年間、ありがとうございました。